

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅱ（感覚器・生殖器系） 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	眼科医師・耳鼻咽喉科医師・皮膚科医師 歯科・口腔外科医師・産婦人科医師・外科医師	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>感覚器の構造と機能について学び、各器官における疾患とその症状および病態診断を理解する。また、女性生殖器疾患もこの科目内で学んでいく。特に女性に増加している乳腺の疾患についても取り上げ学びを深める。到達目標は感覚器・女性生殖器系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解することとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 眼の構造と機能及び眼球疾患とその治療 1) 眼の構造と機能	講義（眼科医師）	
2回目	2) 症状とその病態生理 ①視機能に関連した症状	講義（眼科医師）	
3回目	3) 疾患の理解 ①機能障害 ②部位別疾患 ③外傷 ④全身疾患との関連	講義（眼科医師）	
4回目	2. 耳鼻咽喉頭・頸部の構造と機能及び疾患とその治療 1) 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能	講義（耳鼻科医師）	
5回目	2) 症状とその病態生理 ①難聴 ②嗅覚障害	講義（耳鼻科医師）	
6回目	3) 疾患の理解 ①耳疾患 ②鼻疾患 ③口腔・咽喉疾患 ④気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害	講義（耳鼻科医師）	
7回目	3. 歯・口腔の構造と機能及び疾患とその治療 1) 歯・口腔の構造と機能	講義（歯科医師）	
8回目	2) 症状とその病態生理 ①咀嚼障害 ②嚥下障害	講義（歯科医師）	
9回目	3) 疾患の理解 ①歯の異常と疾患 ②口腔粘膜の疾患 ③口腔領域の疾患	講義（歯科医師）	
10回目	4. 皮膚の構造と機能及び疾患とその治療 1) 皮膚の構造と機能	講義（皮膚科医師）	
11回目	2) 検査と治療処置 ①皮膚的検査法（免疫・アレルギー検査） ②全身療法 ③外用療法	講義（皮膚科医師）	
12回目	3) 疾患の理解 ①表在性皮膚疾患 ②物理的・化学的皮膚傷 ③感染症 ④全身性疾患に伴う皮膚疾患	講義（皮膚科医師）	
13回目	5. 女性生殖器疾患とその治療 1) 性分化疾患 2) 臓器別疾患	講義（産婦人科医師）	
14回目	3) 機能的疾患 4) 感染症	講義（産婦人科医師）	
15回目	5) 乳房の疾患	講義（外科医師）	
16回目	終了試験		
評価方法	終了試験 筆記 100%：眼科（20%） 耳鼻科（20%） 歯科（20%） 皮膚科（20%） 産婦人科（10%） 外科（10%）		
受講生に対するメッセージ	5領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑧泌尿器 ⑨女性生殖器 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯科・口腔 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院 皮膚科エキスパートナーシング 改訂第2版		
参考書			